

証券化市場の動向調査

～2009年度の発行動向～

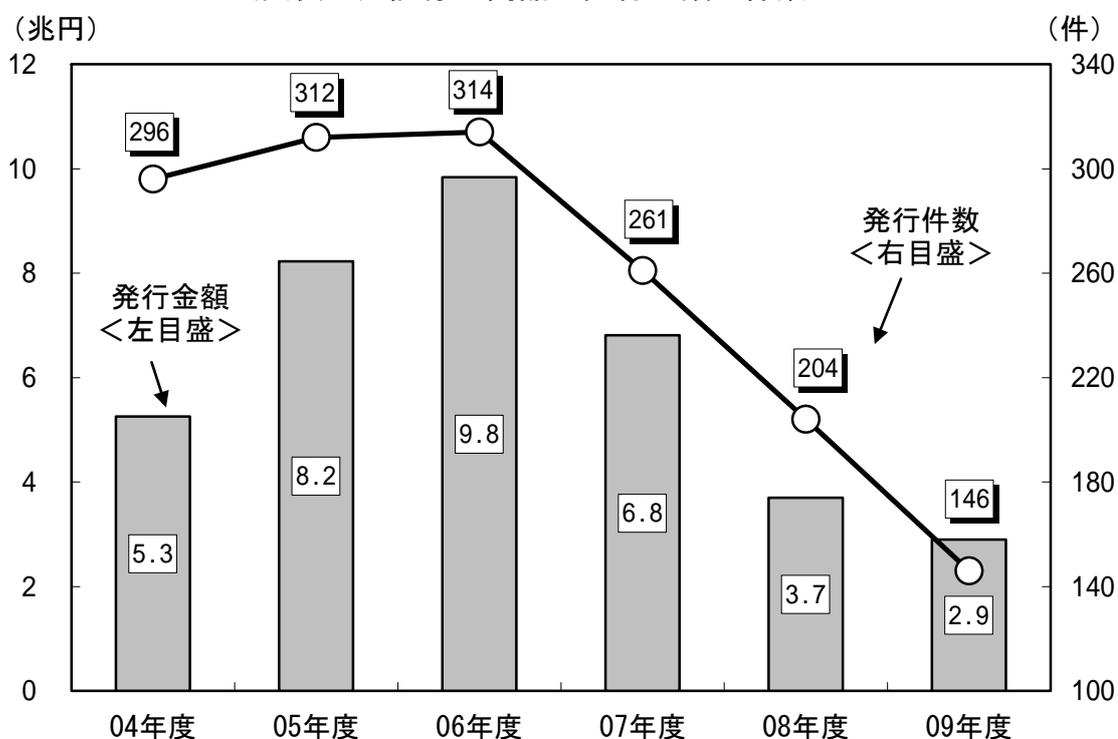
以下は、日本証券業協会及び全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2009年度（2009年4月～2010年3月）の結果を取り纏めたものです。

図表データについては、別紙をご参照ください。また、参考として、『証券化市場の動向調査』における項目毎の記載割合」を取り纏めています。

1. 証券化商品全体の発行動向

2009年度における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに、前年度を下回り、調査開始(2004年度)以来、最小となった（金額 2.9兆円<前年度比▲22%>、件数 146件<同 28%>）（図表1）。

（図表1）証券化商品の発行金額・件数



（参考）普通社債の発行金額

（単位：兆円<2009年度分は暫定数値>）

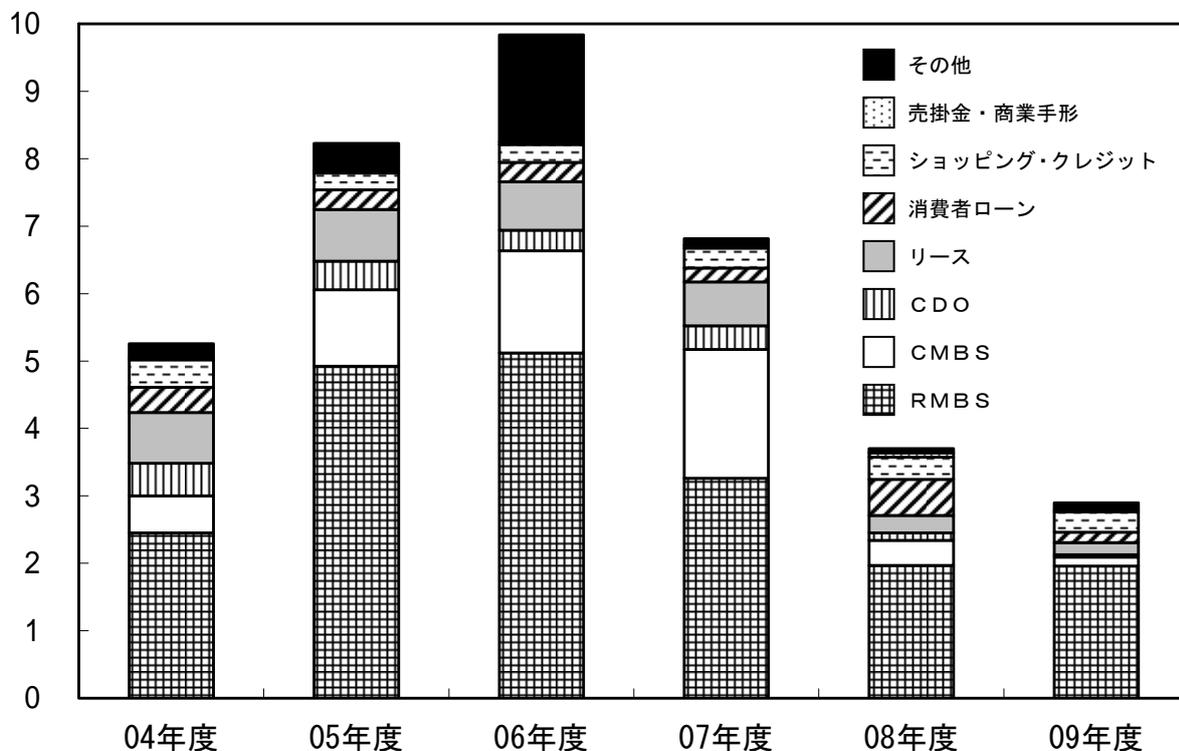
2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
5.9	6.9	6.8	9.4	9.6	10.3

2. 裏付資産別の発行動向

2009年度における証券化商品の発行金額（合計2.9兆円＜前年度比▲22%＞）を「裏付資産」別にみると、「RMBS」（2.0兆円＜同▲0%＞）は、住宅金融支援機構発行分の増加もあって、全体としては前年度並みの水準となったものの、「CMBS」（0.1兆円＜同▲65%＞）及び「リース」（0.2兆円＜同▲31%＞）が、引き続き減少したほか、「消費者ローン」（0.2兆円＜同▲72%＞）が、前年度の大型案件による大幅な増加の反動もあって減少し、「ショッピング・クレジット」（0.3兆円＜同▲7%＞）も前年度比減少に転じている。

以上の結果、発行金額（合計2.9兆円）の「裏付資産」別の構成比は、「RMBS」（2.0兆円＜構成比2009年度68%←2008年度53%＞）及び「ショッピング・クレジット」（0.3兆円＜同11%←9%＞）が増加し、「リース」（0.2兆円＜同6%←7%＞）、「消費者ローン」（0.2兆円＜同5%←15%＞）及び「CMBS」（0.1兆円＜同5%←10%＞）は減少した（図表2）。

（兆円） （図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額



（参考）裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」

：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」

：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」

：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

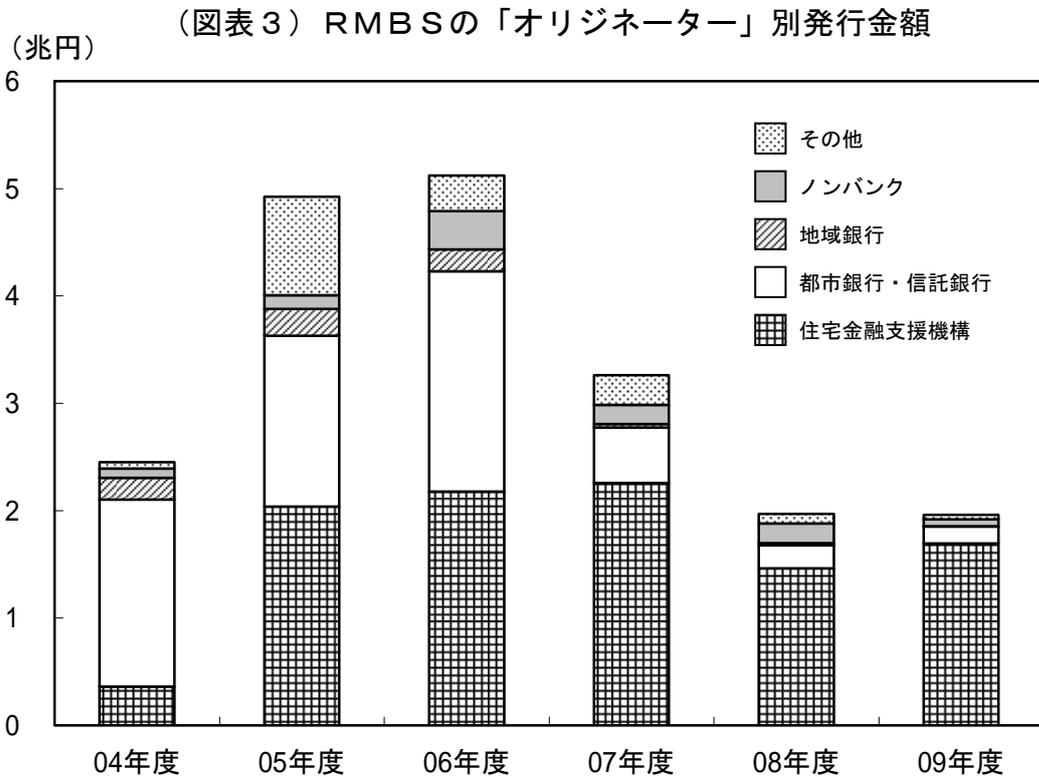
「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

「その他」：事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

2. - (1) RMBSの発行動向

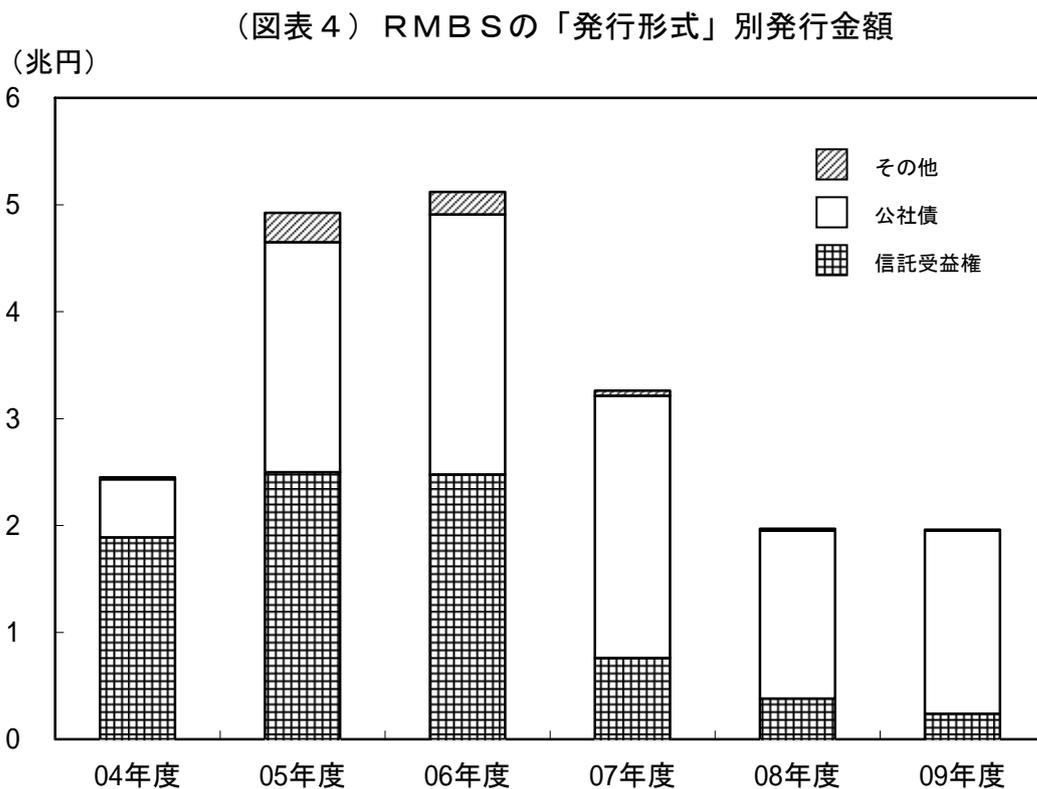
①オリジネーター別

RMBSの発行金額（1兆9,603億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が87%（1兆6,960億円）を占めた（図表3）。



②発行形式別

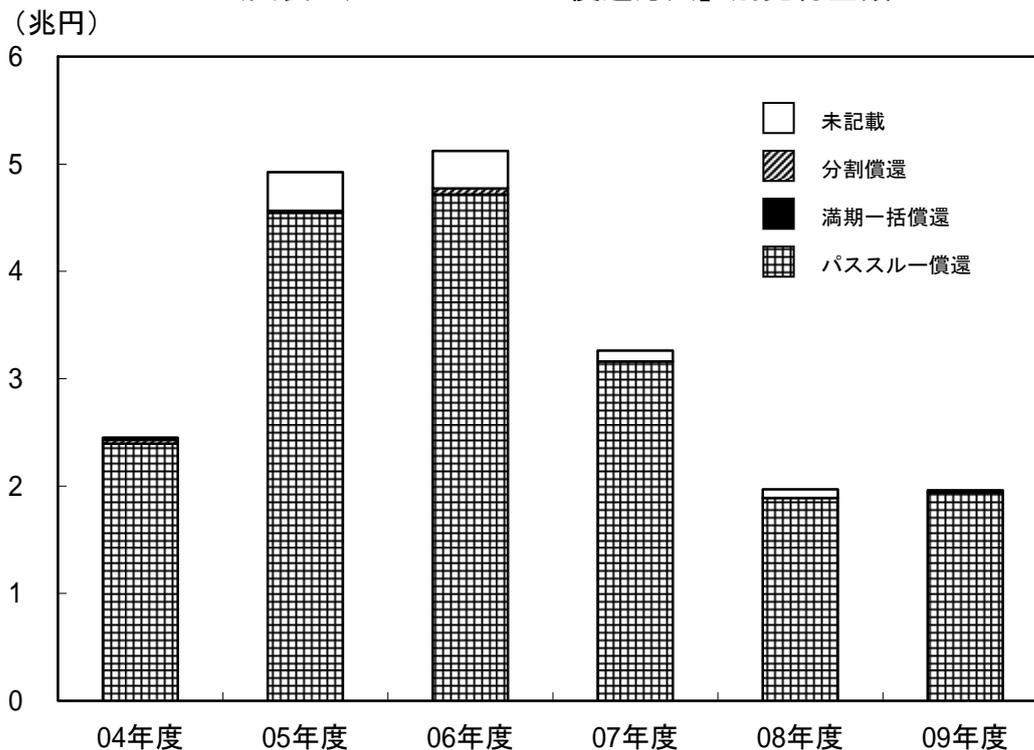
RMBSの発行金額（1兆9,603億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が87%（1兆7,100億円）を占めた（図表4）。



③償還方法別

RMB Sの発行金額（1兆9,603億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が99%（1兆9,397億円）を占めた（図表5）。

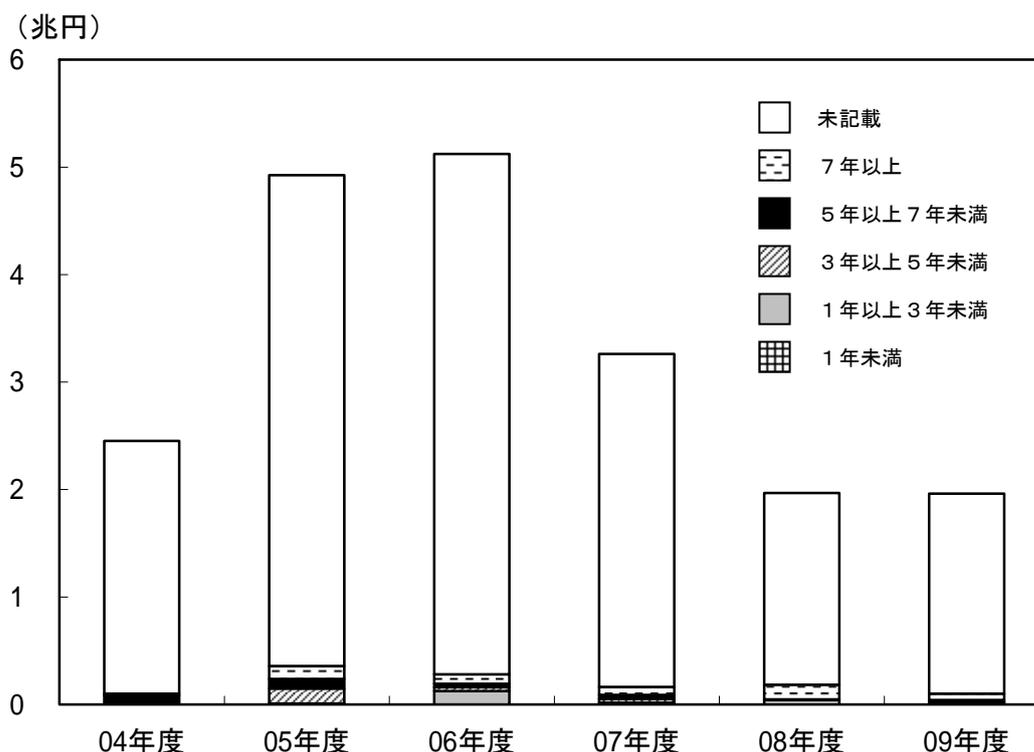
（図表5）RMB Sの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

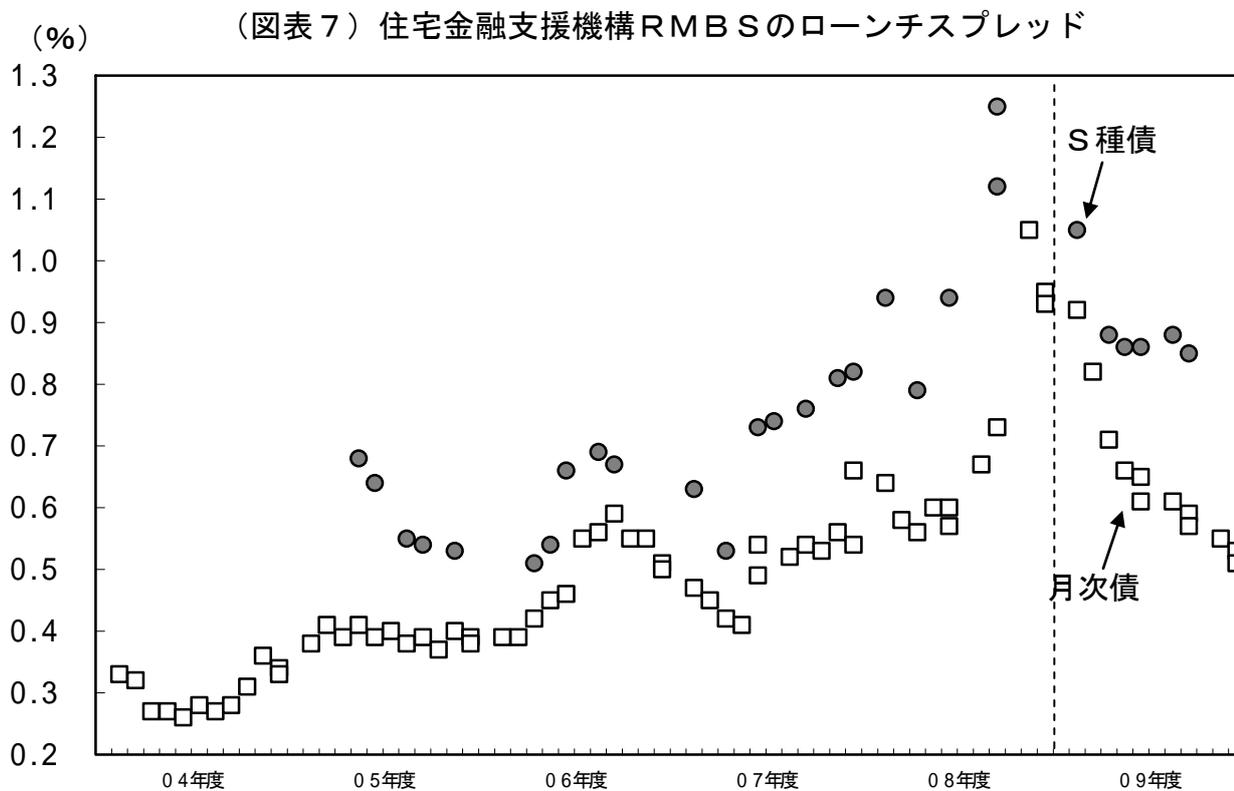
RMB Sの発行金額（1兆9,603億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が95%（1兆8,606億円）を占めたが、記載のある中では、「7年以上」（589億円）が最も多くなった（図表6）。

（図表6）RMB Sの「予定／平均年限」別発行金額



⑤発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMBSのローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）をみると、2009年度においては、月次債、S種債ともに縮小傾向を辿った（図表7）。



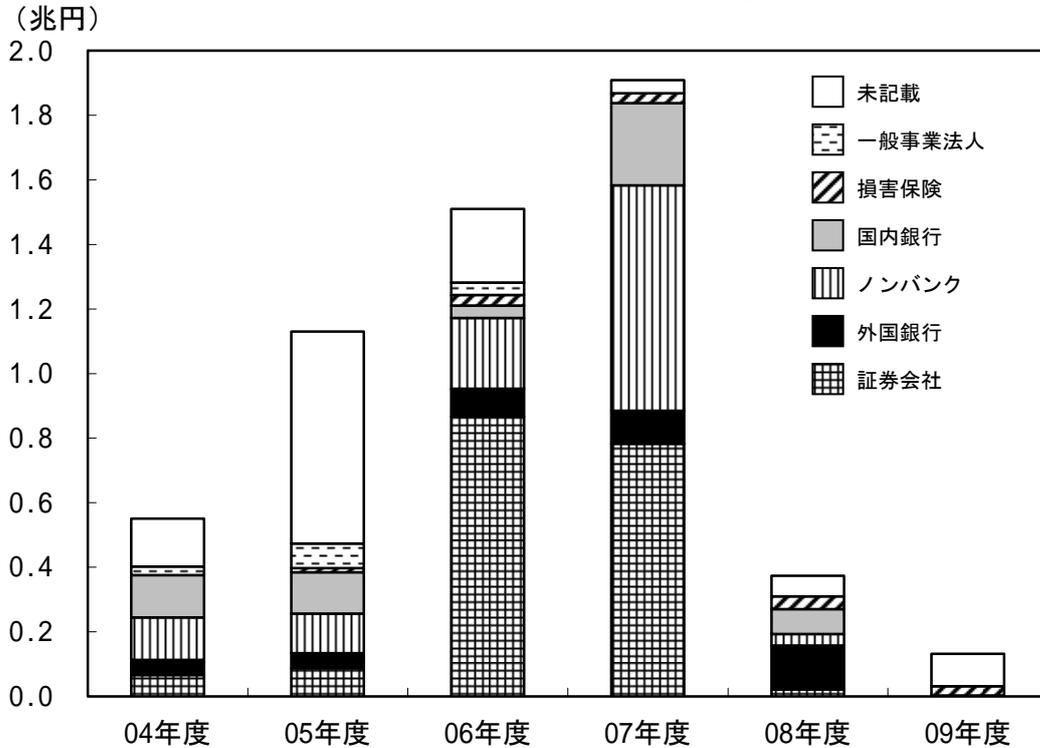
旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。

2. - (2) CMBSの発行動向

①オリジネーター別

CMBSの発行金額(1,321億円)を「オリジネーター」別にみると、「未記載」が76%(1,000億円)を占めたが、記載のある中では、「損害保険」が296億円、「国内銀行」が25億円であった(図表8)。

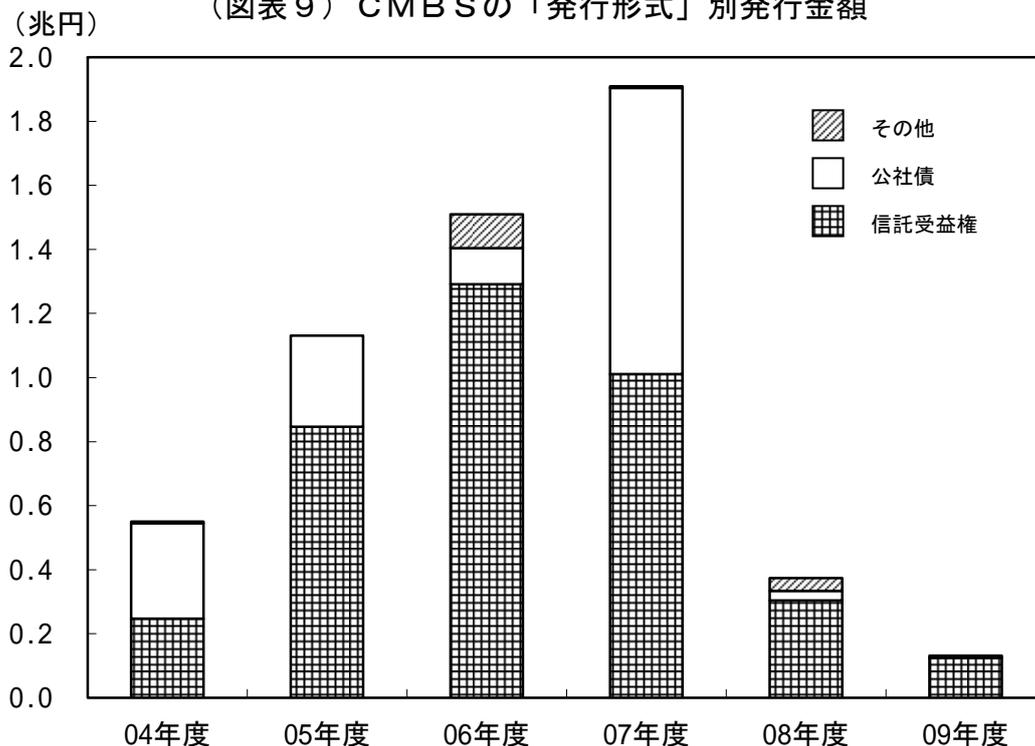
(図表8) CMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

CMBSの発行金額(1,321億円)を「発行形式」別にみると、「信託受益権」が94%(1,247億円)を占めた(図表9)。

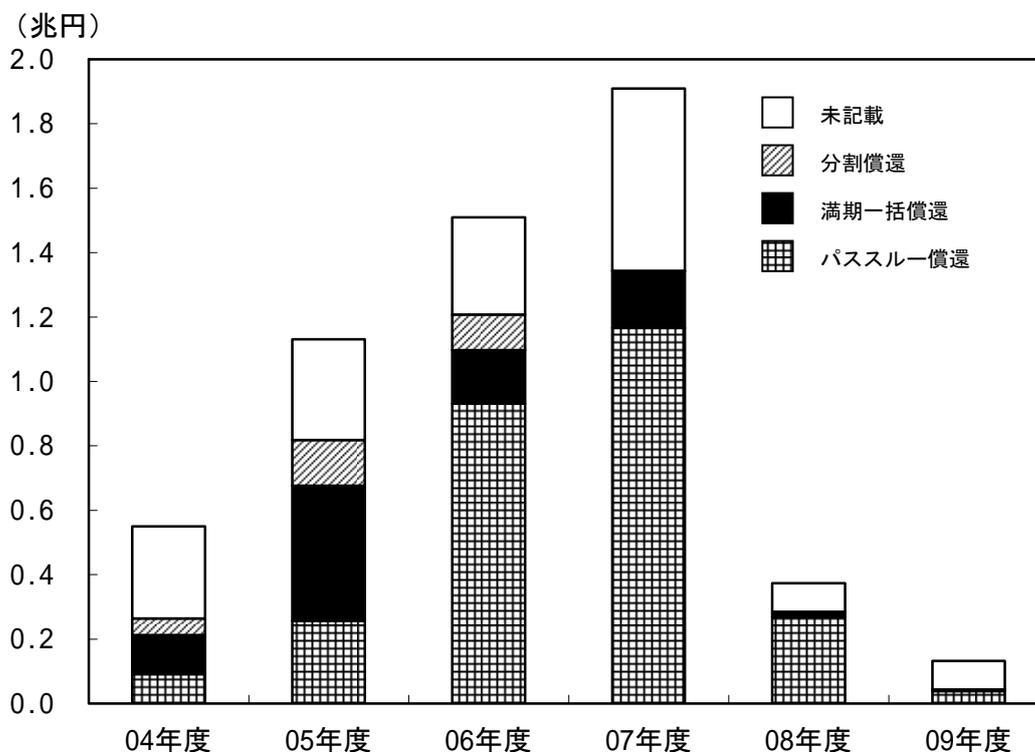
(図表9) CMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

CMBSの発行金額（1,321億円）を「償還方法」別にみると、「未記載」が67%（884億円）を占めたが、記載のある中では、「パススルー償還」が392億円、「満期一括償還」が45億円であった（図表10）。

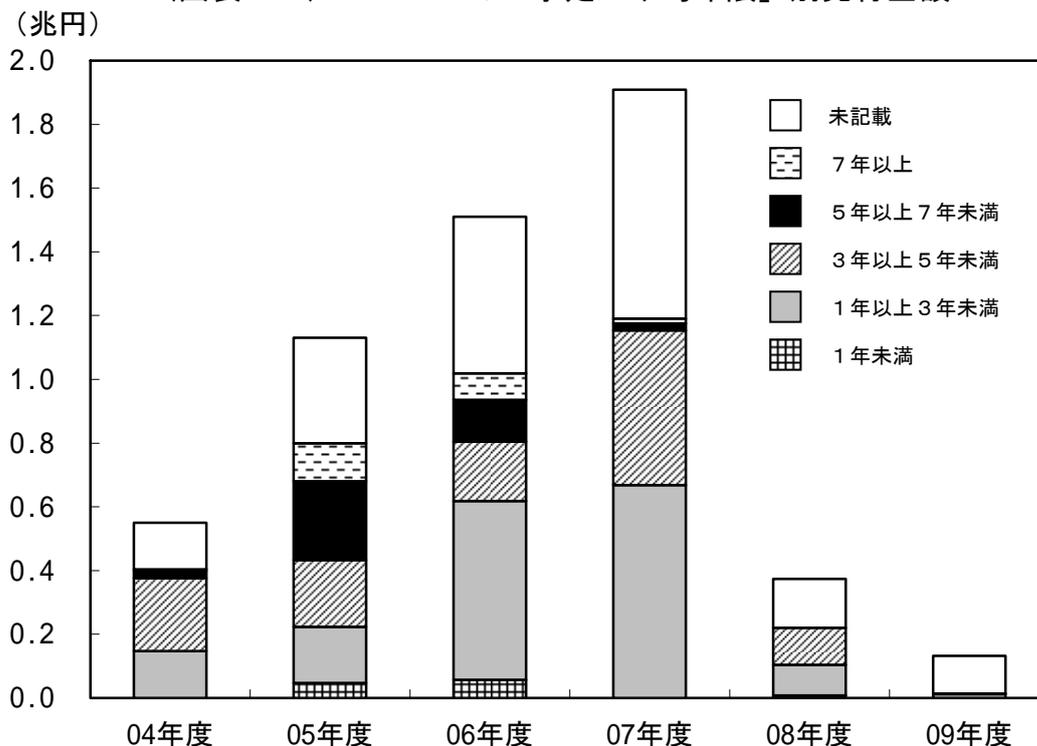
（図表10）CMBSの「償還方法」別発行金額



④予定／平均年限別

CMBSの発行金額（1,321億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が89%（1,180億円）を占めたが、記載のある中では、「1年以上3年未満」が121億円、「3年以上5年未満」が20億円であった（図表11）。

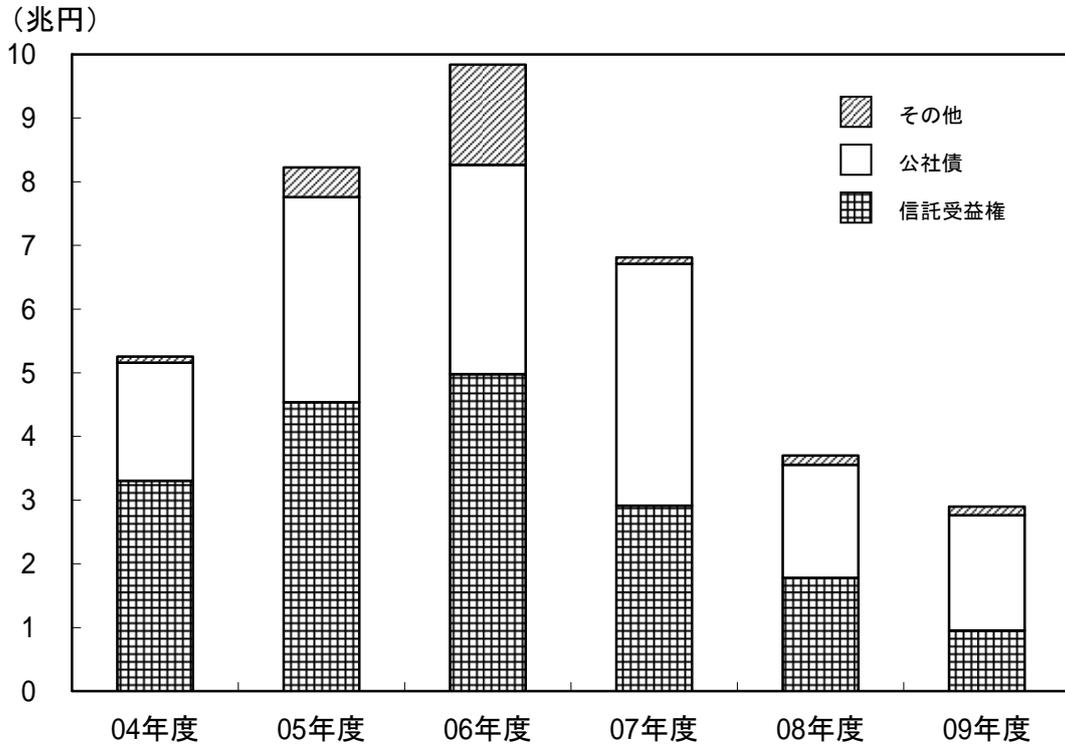
（図表11）CMBSの「予定／平均年限」別発行金額



3. 発行形式別の発行動向

2009年度における証券化商品の発行金額（2.9兆円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が62%（1.8兆円）を占め、次いで「信託受益権」が33%（1.0兆円）を占めた（図表12）。

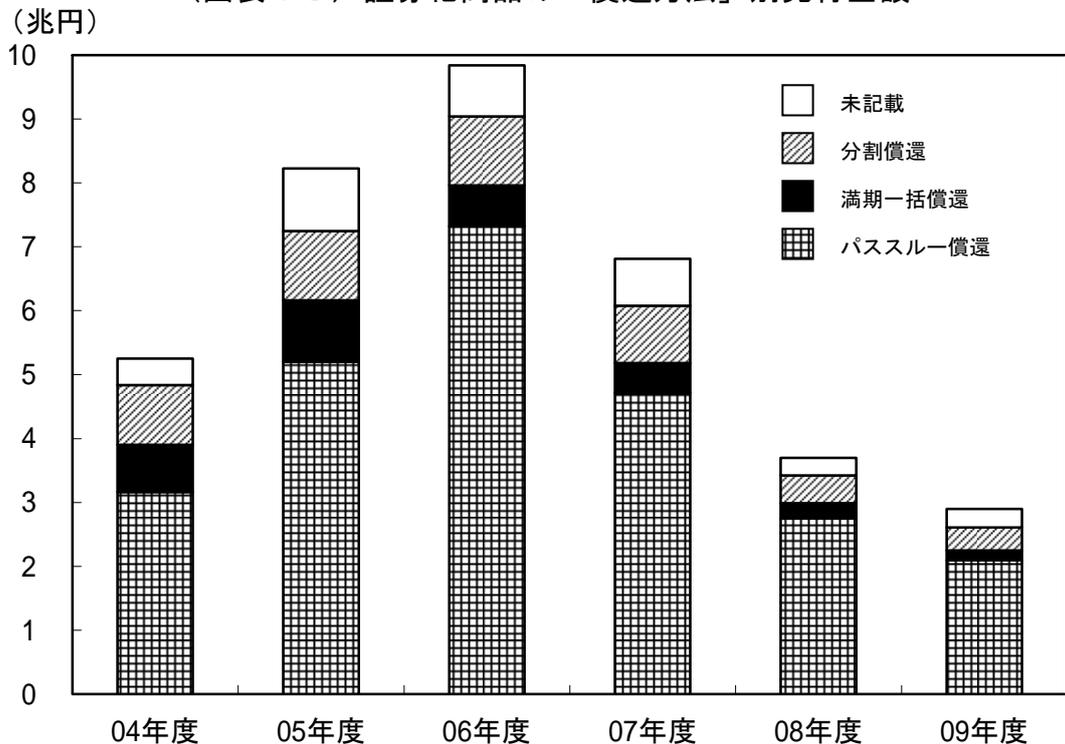
（図表12）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2009年度における証券化商品の発行金額（2.9兆円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が72%（2.1兆円）を占めた（図表13）。

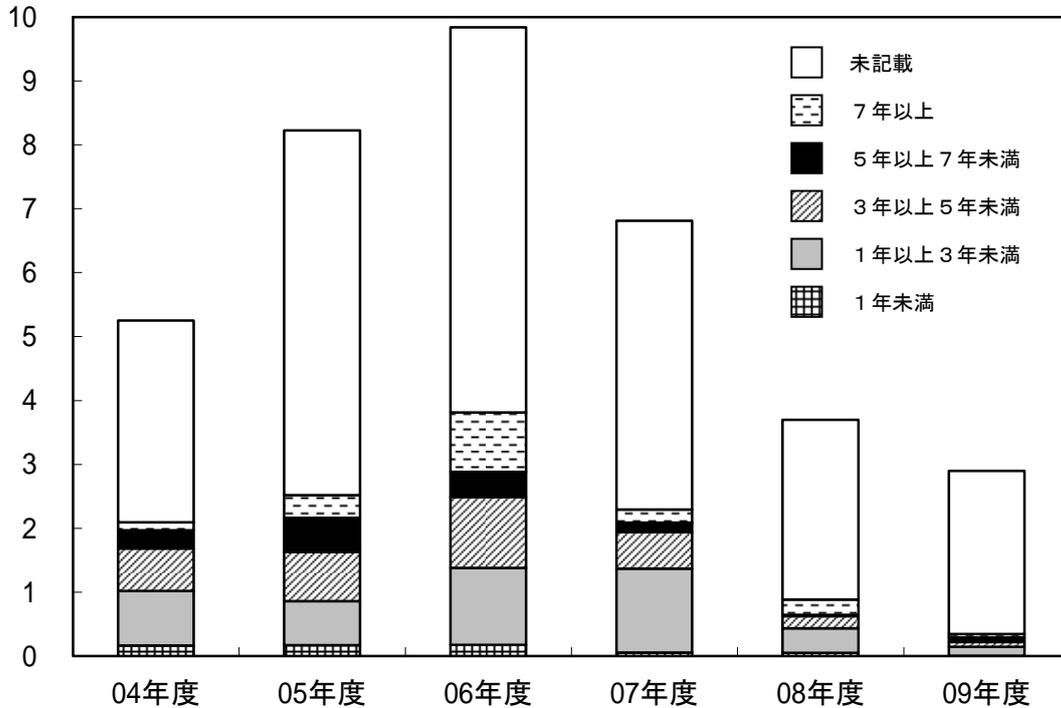
（図表13）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2009年度における証券化商品の発行金額（2.9兆円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が88%（2.6兆円）を占めたが、記載のある中では、「1年以上3年未満」（1,411億円）が最も多くなった（図表14）。

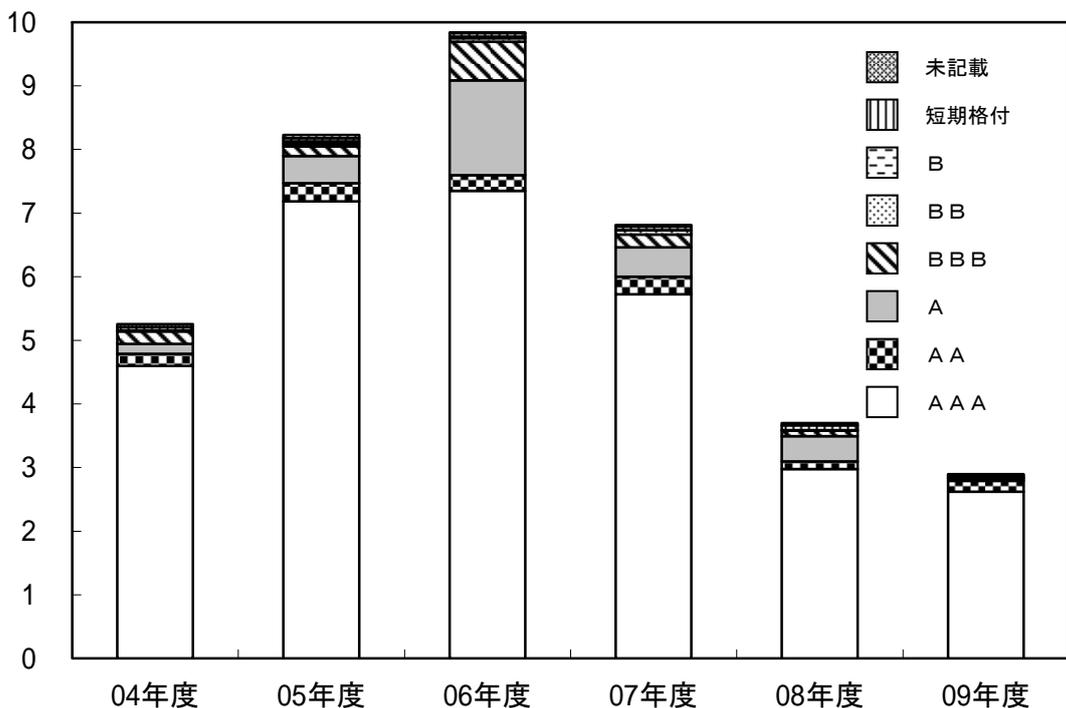
（図表14）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

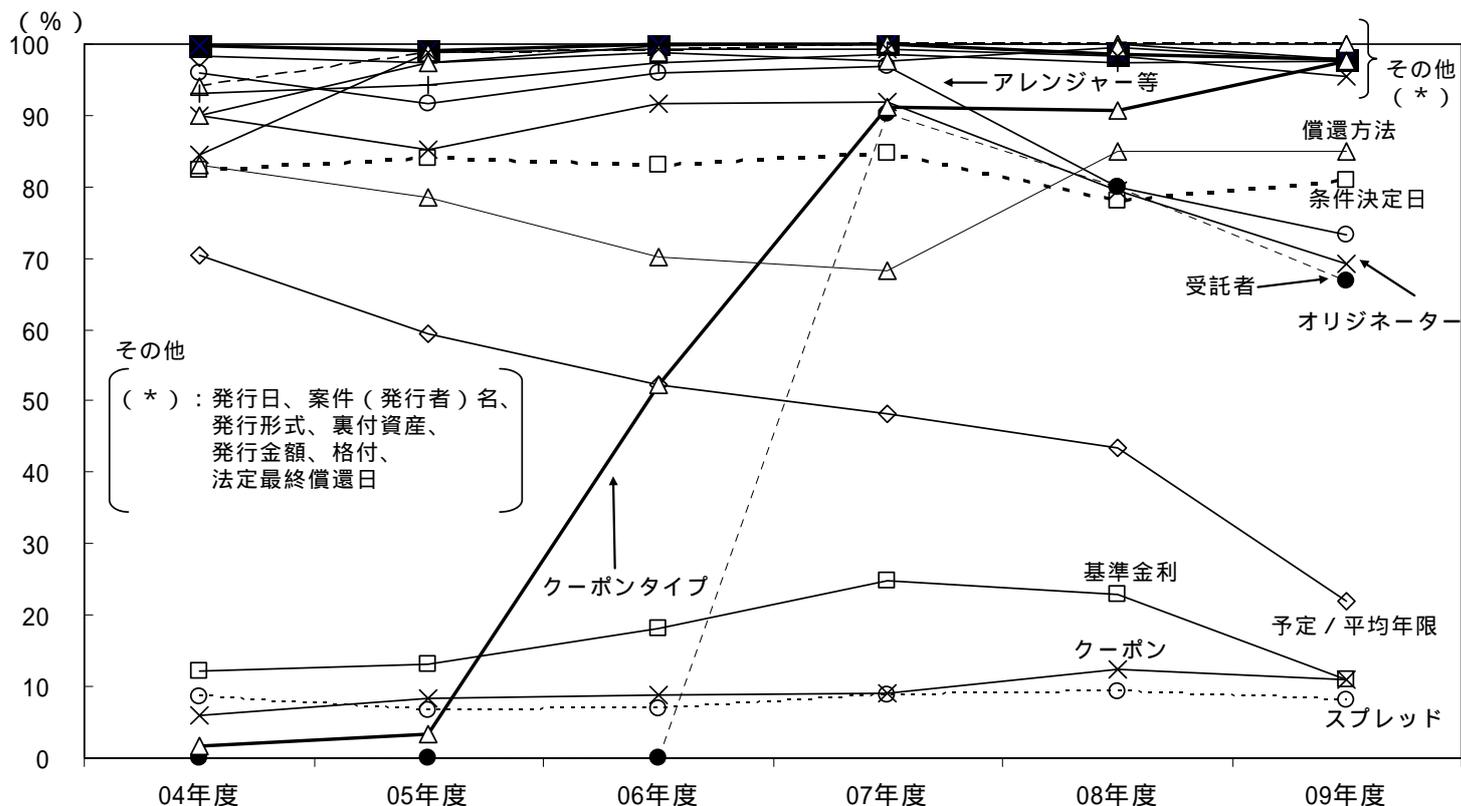
2009年度における証券化商品の発行金額（2.9兆円）を「格付」別にみると、「AAA」が90%（2.6兆円）を占めた（図表15）。

（図表15）証券化商品の「格付」別発行金額



以上

(参考)「証券化市場の動向調査」における項目毎の記載割合(件数ベース)



単位: % (件数ベース)

	発行日	条件決定日	案件(発行者)名	オリジネーター	アレンジャー等	受託者	発行形式	裏付資産	発行金額
04年度	99.7	82.4	93.9	89.9	95.9	-	93.1	98.3	93.1
05年度	99.0	84.0	98.7	85.3	91.7	-	94.3	97.4	98.4
06年度	100.0	83.1	99.0	91.7	95.9	-	97.5	99.7	100.0
07年度	100.0	84.7	100.0	92.0	96.9	90.1	98.7	100.0	98.8
08年度	98.5	77.9	100.0	79.4	79.9	80.0	97.4	100.0	100.0
09年度	97.9	80.8	100.0	69.2	73.3	66.9	97.7	97.9	98.2

	予定/平均年限	法定最終償還日	償還方法	格付	クーポン	クーポンタイプ	スプレッド	基準金利
04年度	70.5	90.0	83.1	84.5	6.0	1.8	8.7	12.1
05年度	59.5	97.3	78.4	98.9	8.3	3.3	6.7	13.1
06年度	52.2	98.9	70.2	99.2	8.7	52.2	6.9	18.1
07年度	48.1	97.7	68.3	99.3	9.1	91.2	8.8	24.9
08年度	43.4	99.4	85.0	98.2	12.3	90.6	9.4	22.9
09年度	21.9	97.7	84.9	95.4	11.0	97.7	8.2	11.0